

October 8, 2021

【前日の為替概況】ドル円、NY株高と米10年債利回り1.5764%で111.65円まで上昇

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は111.63円と前営業日NY終値(111.41円)と比べて22銭程度のドル高水準だった。米債務上限問題を巡る懸念が和らぎ、米国株相場が堅調に推移すると、リスク・オンの円売りが先行。前週分の米新規失業保険申請件数が予想より強い内容となったことも相場の支援材料となり、一時111.65円と日通し高値を更新した。米長期金利の指標である米10年債利回りが一時1.5764%前後と6月17日以来の高水準を付けたこともドル買いを誘った。

シューマー米上院院内総務(民主党)は、「12月上旬まで債務上限を引き上げる案について合意した」と述べ、本日中の採決を示唆。米国債の債務不履行(デフォルト)への懸念が和らぎ、ダウ平均は一時550ドル超上昇した。ナイト・セッションの日経平均先物は前日終値比340円高の2万8160円まで買われる場面があった。ユーロ円も反発。終値は128.94円と前営業日NY終値(128.74円)と比べて20銭程度のユーロ高水準。米債務上限問題への警戒が和らぎ、米国株高が上昇すると投資家のリスク志向が改善し円売り・ユーロ買いが強まった。2時30分過ぎに一時129.03円と本日高値を付けた。

ポンド円は一時152.09円、豪ドル円は81.67円、NZドル円は77.44円まで値を上げた。

カナダドルは全面高。米エネルギー省が「現時点では戦略石油備蓄(SPR)を放出する計画はない」との見解を示すと、WTI原油先物相場が一転上昇。産油国通貨とされるカナダドルに買いが集まった。対米ドルでは一時1.2540カナダドル、対円では89.00円と7月7日以来3カ月ぶりの高値を更新した。対ユーロでは1.4489カナダドルと昨年2月26日以来の高値を付けた。

ユーロドルは小幅ながら3日続落。終値は1.1552ドルと前営業日NY終値(1.1556ドル)と比べて0.0004ドル程度のユーロ安水準。米国株高に伴うリスク・オンのユーロ買い・ドル売りが入った半面、米金利上昇につれたユーロ売り・ドル買いが出た。

【本日の東京為替見通し】ドル円、改善が予想されている米9月雇用統計控えて底堅い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、今夜発表される米9月雇用統計の改善見通しから、底堅い展開が予想される。

9月の米雇用統計の予想は、失業率が5.1%で8月の5.2%から低下、非農業部門雇用者数は前月比+50.0万人で8月の前月比+23.5万人からの増加幅改善が見込まれている。最小予想は前月比+25万人、最大予想は前月比+70万人となっており、8月同様のネガティブサプライズに警戒しつつも、上方修正される傾向にある8月分の上方修正によるポジティブサプライズにも要警戒か。新型コロナウイルス禍で導入された失業給付の特例加算措置が、9月6日に終了していることで、9月分も職場への復帰の増加によりポジティブサプライズに要警戒か。米国9月の雇用関連指標は以下の通りに、やや改善を示唆している。

【9月】 【8月】 (○改善・●悪化)

【改善】

- シカゴ購買部協会雇用指数： 52.4 48.3
- 失業保険継続受給者数(9/12週)：280.2万人 290.8万人
- ADP全国雇用者数： +36.8万人 +34.0万人
- 米ISM製造業雇用指数：50.2 49.0

【悪化】

- 米ISM非製造業雇用指数：53.0 53.7
- 消費者信頼感指数(雇用)：42.5% 44.4% (※職が十分-雇用が困難)
- 新規失業保険申請件数(9/12週)：35.1万件 34.9万件

また、本日は、米上院で債務上限の12月上旬までの短期引き上げが採決される見通しとなっている。債務上限は、12月上旬までの期間限定で、28.5兆ドル程度から29兆ドル程度まで引き上げられる見通しだが、12月になってからは、税制・支出法案、暫定予算などと共に、31兆ドル程度までの引き上げ、あるいは、2022年12月までの凍結が協議されることになる。

ドル円の注文状況は、上値には、111.70-90円に断続的にドル売りオーダー、112.00円にドル売りオーダーが控えている。下値には、111.30-40円に断続的にドル買いオーダーが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 8月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比0.4%）
- 08:30 ◇ 8月家計調査（消費支出、予想：前年比▲1.5%）
- 08:50 ◎ 8月国際収支速報
 - ◇ 経常収支（予想：季節調整前1兆5400億円の黒字／季節調整済1兆1459億円の黒字）
 - ◎ 貿易収支（予想：3853億円の赤字）
- 14:00 ◇ 9月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数43.0／先行き判断指数48.5）
- 岸田文雄首相、所信表明演説

<海外>

- 09:30 ◎ 豪準備銀行（RBA）、半期金融安定報告
- 10:45 ◎ 9月Caixin中国サービス部門購買担当者景気指数（PMI、予想：49.2）
- 13:30 ☆ インド中銀、金融政策決定会合（予想：4.00%で据え置き）
- 15:00 ◇ 8月独貿易収支（予想：150億ユーロの黒字）
- 15:00 ◇ 8月独経常収支（予想：176億ユーロの黒字）
- 21:00 ◎ 9月ブラジルIBGE消費者物価指数（IPCA、予想：前月比1.25%）
- 21:05 ◎ イエレン米財務長官、ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁、講演
- 21:30 ☆ 9月カナダ雇用統計（予想：新規雇用者数変化6.50万人／失業率6.9%）
- 21:30 ☆ 9月米雇用統計（予想：非農業部門雇用者数変化50.0万人／失業率5.1%／平均時給、前月比0.4%／前年比4.6%）
- 22:00 ◎ パネッタECB専務理事、講演
- 23:00 ◇ 8月米卸売売上高（予想：前月比1.0%）
- 23:00 ◇ 8月米卸売在庫（予想：前月比1.2%）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

7日 10:04 黒田日銀総裁

「物価の先行き、エネルギー価格などの上昇反映し小幅のプラスに転じていく」
「金融システムは全体として安定性を維持」
「国内景気、コロナ影響で引き続き厳しい状態だが、基調としては持ち直している」

8日 01:06 レーン ECB 専務理事兼主任エコノミスト

「インフレ上昇は一時的と予想」
「エネルギーショックは以前にも起きている」

※時間は日本時間

7日 17:12 ストゥルナラス・ギリシャ中銀総裁

「インフレは中期的に2%を下回るだろう」
「スタグフレーションは発生しておらず、現在の状況はコントロールされている」
「ECBは12月に政策の選択肢を見直す」
「利上げに関する市場の見方はECBのガイダンスを反映していない」

7日 17:58 セフコビッチ欧州委員会副委員長

「北アイルランド議定書の実施には引き続き双方の妥協が必要」
「北アイルランド議定書の再交渉はしない」
「英国が示唆する16条発動は何の助けにもならない」

7日 18:14 ビルロワドガロー仏中銀総裁

「インフレ率は1年以内に再び2%を下回るだろう」

7日 18:36 ピル英 MPC(金融政策委員会)委員・英中銀
チーフエコノミスト

「インフレへ懸念は高まっている」
「現在の高いインフレ率は当初の予想より長引く可能性」
「資産購入の縮小計画は現段階では最善の方法」
「新型コロナの影響が後退しても今後数年間、金利は比較的低い水準で推移すると予想」

7日 22:20 シュナーベル ECB 専務理事

「現在のインフレ率の上昇は、主に一時的な要因に起因する可能性」
「経済再開がサービス部門のインフレを押し上げた」

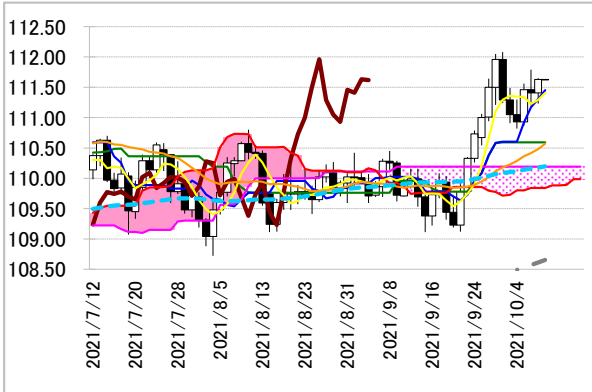
7日 23:21 シューマー米上院院内総務(民主党)

「12月上旬まで債務上限を引き上げる案について合意した」

8日 01:00 メスター米クリーブランド連銀総裁

「インフレ見通しに関する不確実性は高まっている」

〔日足一目均衡表分析〕

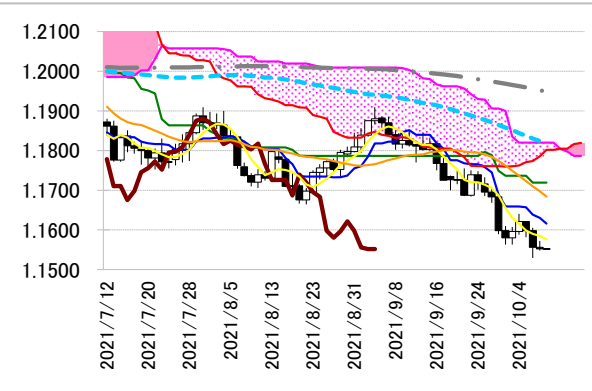


<ドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。抱き線で反発し、転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.40(2019/4/24 高値)
レジスタンス 1	112.08(9/30 高値)
前日終値	111.63
サポート 1	110.60(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	110.19(日足一目均衡表・雲の上限)

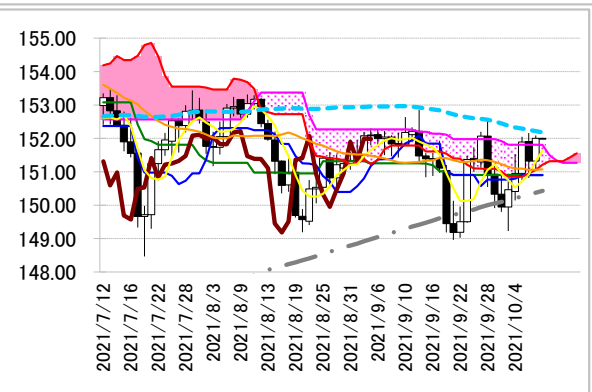


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。3手連続陰線で下落し、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1616(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1552
サポート 1	1.1507(2020/7/22 安値)

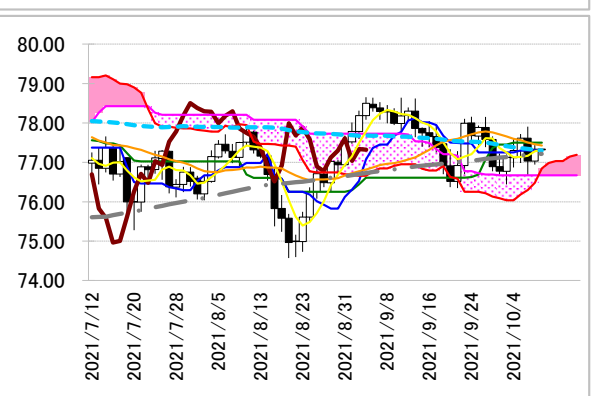


<ポンド円＝雲の下限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の上で引けているものの、売りシグナルが優勢な展開。しかし、抱き線で反発して、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	152.57(9/28 高値)
前日終値	152.00
サポート 1	151.22(日足一目均衡表・雲の下限)



<NZドル円＝雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の上で引けているものの、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、孕み線で反発して、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	78.16(9/24 高値)
前日終値	77.34
サポート 1	76.84(日足一目均衡表・雲の上限)

